

MONTHLY SUPPORTER

あなたの月々のご支援が、 持続可能な佐賀の未来を創ります

佐賀県では、様々なCSOが、行政サービスでは対応できない地域課題に立ち向かい、県内の資源「ヒト・モノ・カネ・ジョウボウ」の循環型で持続可能な社会の確立に向けて活躍しています。彼らの活動を支援し、どんな境遇の人たちも取り残さない社会にするために、ご協力いただける「マンスリーサポーター」を募集しています。

ご寄付は、下記の取り組み等の推進の為に
活用させていただきます



さが・こども未来応援
プロジェクト



エリアマネジメント



佐賀災害支援
プラットフォーム



事業評価導入支援研修

マンスリーサポーターになる

月額1,000円よりご支援をお願いいたします。
銀行振込・クレジット決済での寄付のお手続きがオンラインでできる、寄付決済ページをご準備しております。
下記の寄付決済ページにて、「支援の種類」から「基金応援寄付(さがつくサポーター)(毎月)」を選択いただき、手続きを進めてください。

寄付決済ページアドレス

<https://x.gd/wdpkl>
(大文字のA↑)

スマホの方はバーコード
をスキャンしてください⇒



マンスリーサポーター及びご寄付についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

【SDGsとは】
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

公益財団法人 佐賀未来創造基金

〒840-0813

佐賀市唐人二丁目5番25号

TEL 0952-26-2228

URL: <https://saga-mirai.jp/>

(愛称: さがつく)



公益財団法人
佐賀未来創造基金

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

あなたの志金が
よりよい佐賀の
未来を創ります

2024

ANNUAL REPORT | 令和6年度 年次報告書

<2024年4月1日 ~ 2025年3月31日>

代表あいさつ



公益財団法人 佐賀未来創造基金
代表理事 山田 健一郎

佐賀の未来を一緒に創る ～ご縁をカタチに！地域資源循環型社会へのチャレンジ～

佐賀未来創造金は創立から10年を超え、これまで地域の皆さま、行政、企業、CSO*の多くの仲間と共に「地域資源の循環」と「市民による課題解決」を進めてきました。2024年度は、ポストコロナの新たな地域の再構築期として、共助の仕組みをいかに持続可能な形に転換できるかを問い直す一年となりました。

こども支援、災害対応、孤独・孤立対策など複合的な社会課題に対して、私たちはセクターを越えた協働を基盤に「つなぐ・支える・創り出す」プロジェクトを重ねてきました。

特に、冠基金やふるさと納税型クラウドファンディング*を通

じて、地域の想いを寄付というカタチで循環させる取り組みが広がりをみせています。


また、地域金融機関や行政との連携により、社会的投資や新公益法人制度を見据えた新たな資金循環モデルの実証も始まりました。これらの挑戦は単なる資金援助にとどまらず、「市民が主役の持続可能なまちづくり」への道筋を照らすものです。

これからも「さかの未来を一緒に創る」という理念のもとに、地域で生まれる縁や思いを「かたち」に変え、次の10年へとつなぐ活動を続けてまいります。

※CSOとは、Civil Society Organizations(市民社会組織)の略です。佐賀県ではNPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体も含めて「CSO」と呼称しています。


※クラウドファンディングとは、インターネットを通じて不特定多数の人から少額ずつ資金を集める仕組みです。

ふるさと納税（NPO等の支援）による当財団へのご寄附をお願いします



佐賀県には、「佐賀県ふるさと納税（NPO等支援）」制度があります。弊財団は、2015年度より、支援先CSOに指定されています。

佐賀県の特産品による返礼品も多数ご準備しており、寄付額に応じて、所得税（還付）・住民税（控除）といったふるさと納税の制度上の優遇が受けられますので、ぜひご支援のほど、よろしくお願いいたします。



↑返礼品を
チェック！



CONTENTS

03	CSOへの支援活動	07	他団体との協働事業による助成事業
04	冠寄付プログラムによる助成事業	08	寄付文化の普及啓発事業
05	事業指定寄付プログラムによる助成事業	09	助成実績／視察受入実績
06	分野指定寄付プログラムによる助成事業／社会的弱者への資金援助プログラムによる助成事業	10	会計報告



社会的課題の解決や、新しい価値の創造のための事業を行う
市民社会組織(CSO)への伴走支援事業を行っています。

■ 佐賀県誘致CSO支援

佐賀県では、様々な分野でトップランナーとして活躍している県外のCSOを誘致することにより、人材の流入や雇用を生み出すと共に、誘致CSOとの交流やノウハウの提供等を通じて県内CSOのスキルアップや、更なる地域課題の解決につなげることを目的に「地域活性化のための県外CSOの誘致事業」を、2015年(平成27年)から実施

しています。誘致にあたっては「佐賀県」「誘致CSO」「佐賀未来創造基金」の3者で進出協定を締結し、県内での活動や生活のための支援、県内CSOとの交流機会の提供等、誘致CSOに対してしっかりとサポートしています。2024年度は「認定NPO法人D×P」が加わり、これまでに誘致CSOは16団体となりました。



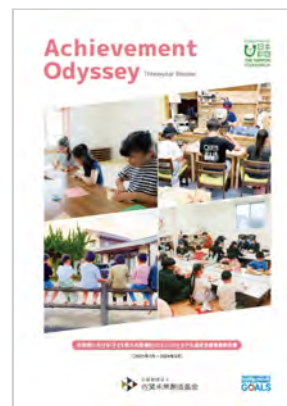
佐賀新聞 2025年5月17日



■ 子ども第三の居場所 運営支援

2021年度より、日本財団 子ども第三の居場所事業の助成を受けて、佐賀県内に4つの「子ども第三の居場所」が開設・運営され、4年目となる本年は、1団体(空家・空地活用サポートSAGA:居場所そら)への伴走支援を実施させていただきました。次年度より、4団体全ての団体が助成期間終了に伴い自立・自走運営となることから、その実現に向けたスキルアップやファンドレイジングサポート等に力をいれてご支援させていただきます。

本事業の成果と軌跡を取りまとめた白書「子ども第三の居場所 事業実施報告書」を作成・公開しています(令和6年度作成)。この白書を各団体にも配布し、これまでの支援者・協力者へのコミュニケーションツール、並びに、新たな寄付獲得のためのツールとしてご活用いただいています。



子ども第三の居場所 運営支援事業 特設ページ
https://saga-mirai.jp/codomo_third_place/

事業実施報告書(白書)
ダウンロード→



■ 令和6年度「CSO次世代人材養成事業」

県内CSOが広い視点で協働社会の活性化を図るとともに、安定した事業継続のための組織体制の強化を図るための伴走支援に取り組みました。
※佐賀県県民協働課受託事業(2年度目)

- ・NPO法人温暖化防止ネット
- ・NPO法人消生活相談支援員の会さが
- ・認定NPO法人被害者支援ネットワーク佐賀VOISS



荏原環境プラント「第7回 e-さが基金」

平成30年(2018年)に発足した荏原環境プラント株式会社様による「荏原環境プラントe-さが基金」から、この7年間に佐賀市内で環境保護活動を行う延べ57団体に対して、約4,000万円が助成されました。また、「栄の国まつりごみダイエット大作戦」や佐賀市内の小学4年生を対象とした「佐賀市内におけるごみ発電の地産地消学習支援プログラム」に約800万円が助成されました。



助成団体名	助成事業名	採択金額(円)
<チャレンジ事業>		
① NPO法人 poco a bocca	園芸で皆のタネが育つ場所づくり事業	500,000
② 佐賀環境フォーラム環境教育班えこいく	環境教育授業	300,000
③ 日本野鳥の会佐賀県支部	ニッポンバラタナゴ純血種保全増殖事業	500,000
④ NPO法人 元気・勇気・活気の会	アースラブによる有機物の堆肥化及び家庭で出来る生ごみ処理事業	500,000
<ネットワークづくり事業>		
⑤ NPO法人温暖化防止ネット	若者の人材育成を兼ねた環境プログラム整備事業	1,000,000
<直轄事業>		
⑥ (一財)日本環境衛生センター	佐賀市ごみ発電の地産地消学習支援プログラム	484,000

■ 令和6年度「佐賀市ごみ発電地産地消支援学習プログラム」

(荏原環境プラント 第7回e-さが基金による)

令和6年度「佐賀市ごみ発電地産地消支援学習プログラム」を、荏原環境プラント(株)新電力事業課、佐賀市役所環境部循環型社会推進課、(一財)日本環境推進センター、佐賀未来創造基金の協働にて実施しました。

ごみ発電は、地域で発生した可燃ごみを焼却する際に発生する余熱を利用した発電であり、可燃ごみは、佐賀市内(家庭の日常生活等)から排出される一般廃棄物等で構成されており、児童生徒の生活から出たごみが発電の熱源の一部になっているという特徴を持っています。

本年度は佐賀市立日新小学校、佐賀市立北川副小学校、佐賀市立北山東部小学校で実施しました。

<ごみ発電学習プログラムの様子>



2024年度の活動報告 | 冠寄付プログラムによる助成事業



第7回 GOgoさがスポ基金による助成

「Gogoさがスポ基金」は、スポーツ環境の整備や競技力向上などに取り組む佐賀県内の団体を資金面で支える佐賀新聞社のキャンペーン企画です。今年度は4団体が選ばれました。

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① SHIROISHI Innovation Lab(白石町)	子どもたちに感動体験を創ろう	150,000
② NPO法人 ソーレ・スマイル(佐賀市)	ブカツ未来アクション in SAGA	150,000
③ 成章クラブ(佐賀市)	部活動地域移行プロジェクト	75,000
④ 小城ユナイト(小城市)	バレーボール関連備品整備事業	75,000

2024年度の活動報告 | 事業指定寄付プログラムによる助成事業

「事業指定寄付」は当法人と参加するCSOと一緒に寄附を集める「志金」調達プログラムです。当法人は資金集めの計画に参加のCSOとともに考え、寄附集めのツールや専用口座などの決済機能を用意するプログラムです。当年度は7件の事業に2924万円を助成しました。

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① 鎮西西宮社再建委員会	火災で焼失した社殿の再建事業	1,360,000
② 映画「ら・かんばねら」を支援する会	映画「ら・かんばねら」基金	25,570,000
③ NPO法人空家・空地活用サポートSAGA	空家・空地の活用事業	1,280,000
④ 一般社団法人 かがみこどもプラザ	ミライエ事業	580,000
⑤ 認定NPO法人 地球市民の会	ウクライナ支援事業	400,000
⑥ 一般社団法人 ここてらす	子どもの居場所事業	30,000
⑦ NPO法人空家・空地活用サポートSAGA	子どもの居場所事業	10,000



映画「ら・かんばねら」完成試写会・舞台挨拶(佐賀新聞 2024年11月18日)

2024年度の活動報告 | 分野指定寄付プログラムによる助成事業

分野指定寄付とは、特定の分野(こども、教育、障がい者、介護、伝統産業、まちづくり、農林水産業、国際協力、途上国支援、働き方文化・スポーツ・科学・環境・子育て、難病支援、学生支援、ソーシャルビジネス、NPO支援等)に関する事業を行う団体及び個人を対象とした寄付プログラムです。

佐賀災害基金(令和6年能登半島地震)支援活動助成

今年度も、この「佐賀災害基金(令和6年能登半島地震支援)」により、本災害に対する緊急・復旧・復興支援活動を行う佐賀県内CSO等の継続的な活動を支援するプログラムとして、4団体に1,250,000円を助成しました。

助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① 一般社団法人おもやい	石川県輪島市内における被災家屋の洗浄・物資搬送活動	990,000
② 建築ボランティアネット	輪島市における建築相談会の開催、被災建物の現地調査	100,000
③ 緑ジョイ防災	災害ボランティアセンター立上げ・運営支援、珠州市在宅避難・高齢者支援	100,000
④ 癒し隊	七尾市/能登半島の地震避難所での整体マッサージ	60,000



コロナと戦う医療にエールを!緊急支援募金助成

2020年から新型コロナの感染患者を受入れ対応している医療機関や感染症指定医療機関、宿泊医療施設で支援を行っている医療機関の医療従事者の待遇拡充の為の助成です。今年度は18機関・施設に674万円を助成しました。



2024年度の活動報告 | 社会的弱者への資金援助プログラムによる助成事業

さが・こども未来応援プロジェクト入学応援給付金プログラム

GCF(ガバメントクラウドファンディング)で集まった寄附金をもとに、2025年に高等学校等に入学を迎える中学3年生を対象に、入学に伴う経済的負担軽減のための、返済不要の給付金を支給する「入学応援給付助成事業」です。この事業は2019年から実施しており、本年度は21名の方に総額210万円を助成することが出来ました。

<これまでの助成実績>

助成年度	助成金額	助成人数
2024年度	2,100,000円	21名
2023年度	2,400,000円	24名
2022年度	5,300,000円	53名
2021年度	5,500,000円	55名
2020年度	6,000,000円	30名
2019年度	6,578,000円	43名
合計	25,778,000円	205名



入学応援給付金プロジェクト(さがっこ基金)特設ページ
https://saga-mirai.jp/2025/10/15/ouen_kyufukin/

■ 入学応援給付金の対象者

佐賀県内に住所を有する中学3年生で、高等学校等に進学を希望しており、次の①～③のいずれかに該当する方としています。

- ① 住民税非課税世帯
- ② 生活保護受給世帯
- ③ 新型コロナウイルスの影響により経済的に困難な状況にある世帯



2024年度の活動報告 | 他団体との協働事業による助成事業

2024年度 第4回 伝統工芸助成事業

当財団とNPO法人ピースウィンズ・ジャパン(以下PWJ)の協働にて実施しました。PWJは佐賀県内で伝統工芸の支援活動として「ピースクラフトSAGA」プロジェクトに取り組んでいます。佐賀県の伝統工芸を振興し、新たな分野への挑戦を促進することを目的としています。



助成団体名	助成事業名	助成金額(円)
① 三藤窯 (唐津焼)	「型打ち」技法による新デザインの器作りと生産体制の構築	500,000
② 岡野蒿平(武雄市)	灯油窯の購入	200,000
③ 貝山製作所(有田焼)	上絵用電気釜の購入	350,000
④ 玉峰窯(武雄焼)	次世代への事業承継に向けた試験用窯の整備	350,000
⑤ NEXTRAD	有田陶交会の若手経営者13名による産地の魅力発信	200,000
⑥ 冬山窯(伊万里焼)	鍋島焼と虹彩磁を融合させた商品開発	200,000
⑦ 宝寿窯(武雄焼)	各地で開催される展示会への展示販売と宣伝	200,000



三藤窯(唐津焼)



玉峰陶園(武雄焼)



貝山製陶所(有田焼)



岡野蒿平



冬山窯(伊万里焼)



宝寿窯(武雄焼)

佐賀ロータリークラブ未来人財奨学金事業

この基金は人格、学業共に優れた生徒であって経済な理由により就学困難な佐賀市内の高等学校に在籍する生徒に対して奨学金を支給、もって社会に有用な人材を育成する事を目的として、佐賀ロータリークラブ創立70周年記念事業として設立されたものです。

本年度は5名の奨学生に各12万円合計60万円が贈呈されました。



贈呈式 ホテルニューオータニ佐賀 2024年8月1日

【コラム】令和5年度 佐賀県子どもの生活実態調査が公開されています。

佐賀県内における子どもの生活状況や家庭の経済状況を把握し、今後の子どもの貧困対策施策の充実を図るとともに、子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条に基づく「佐賀県子どもの貧困対策推進計画」の見直しを行うための基礎資料を得ることを目的として、無作為に抽出した県内の小学2年生の保護者、小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者及び児童(各学年とも約1,500世帯)を対象に調査が実施され、その結果が公開されています。



2024年度の活動報告 | 寄付文化の普及啓発事業



終活・遺贈寄付セミナー

2024年9月19日全国レガシーギフト協会「遺贈の窓口」の活動の一環として、「終活・遺贈寄付セミナー 高齢者をサポートする制度や財産管理、相続の基本、遺贈寄付について」を開催しました。

- 第1部 講演 人生の最終章を豊かにする「頼れる制度と相続・遺言の基礎知識」
講師 司法書士法人 州都総合法務事務所代表 原 弘安氏
- 第2部 パネルディスカッション
「いま注目される遺贈寄付。佐賀県における事例と可能性」
- 共催 佐賀市立鍋島公民館
公益社団法人シビックフォース
NPO法人ピースウィンズ・ジャパン
公益財団法人佐賀未来創造基金
- 後援 佐賀県、佐賀銀行、三井住友信託銀行佐賀支店、佐賀新聞社
- 参加 約40名



ソーシャルビジネス支援セミナー

2024年11月20日「ソーシャルビジネス支援セミナー」を開催しました。社会課題の解決に継続的に取り組む「ソーシャルビジネス」について、金融機関などの支援機関が学ぶセミナーとして地域金融機関の有志を対象に開催しました。

- 講演 本業支援と地方創生
- 講師 新田 信行氏 (ちいきん会 代表)



日本政策金融公庫佐賀支店、佐賀未来創造基金、一般社団法人 市民生活パートナーズからなる「ソーシャルビジネスの育成及び振興に関する協定(2015年7月29日)に基づき開催。県内の金融機関や商工団体から23名参加。

さがCSO交流会2024

2024年12月17日「さがCSO交流会2024」(佐賀県主催/当財団受託運営)を開催しました。

- 第一部 基調講演+トークセッション
テーマ: 地域課題解決のエコシステム
講 師: 新田 信行氏(ちいきん会 代表)
- 第二部 佐賀県知事との交流会
山口知事を交え、参加者同士で意見交換し、新たな出会いと、協働の輪を広げました。
CSOや行政、金融機関から約70名が参加。



2024年度の助成実績

◆ 冠寄付による助成実績

荏原環境プラント「第7回 e-さが基金」

助成団体名	助成金額(円)
団体一覧は4ページに記載	3,434,000

◆ 事業指定寄付による助成実績

助成団体名	助成金額(円)
詳細は5ページに記載	29,230,000

◆ 分野指定寄付による助成実績

佐賀災害基金(令和6年能登半島地震支援)

助成団体名	助成金額(円)
詳細は6ページに記載	1,250,000

◆ 社会的弱者への資金援助プログラムによる助成実績

入学応援給付金助成事業

助成団体名	助成金額(円)
詳細は6ページに記載	2,100,000

◆ 他団体との協働事業による助成実績

第4回 伝統工芸助成

(NPO法人 ピースウィンズ・ジャパン)

助成団体名	助成金額(円)
詳細は7ページに記載	2,000,000

(株)佐賀新聞社 第7回「GOgoさがスポ基金」プログラム

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は5ページに記載	450,000

コロナと戦う医療にエールを!緊急支援募金助成

助成団体名	助成金額(円)
18機関・団体	6,740,000

◆ 日本財団 2024年度「子ども第三の居場所」事業

佐賀市における「子ども第三の居場所コミュニティモデルの運営支援事業

助成団体名	助成金額(円)
① NPO法人空家・空地活用サポートSAGA	5,615,000

概要は3ページに記載

佐賀ロータリークラブ未来人材奨学金事業

助成人数	助成金額(円)
5名	600,000

2024年度 視察受入実績

2024年度、当財団の取り組みや事業について、全国から7件の視察を受け入れました。			
● 2024年5月22日 福岡県県民生活部	● 2024年9月10日 京都府文化生活部総務課		
● 2024年6月18日(一社)ゆずり葉	● 2025年1月21日 宮崎県教育委員会		
● 2024年7月19日 日本社会事業大学	● 2025年2月11日 日本社会事業大学		
● 2024年7月19日 東京都市大学			

2024年度の会計報告

正味財産増減計算書		(単位:円)
(1)経常収益		
基本財産運用益	60	
基本財産受取利息	60	
特定資産運用益	16,037	
特定資産受取利息	16,037	
寄付金振替額	74,858,890	
事業指定寄付振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	30,849,707	
分野指定寄付振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	26,864,149	
冠寄付振替額	10,045,868	
基金応援寄付振替額(事業指定・民間助成金振替含まず)	4,596,989	
ふるさと納税寄付振替額(事業指定・分野指定寄付振替含まず)	2,502,177	
事業収益	4,071,430	
受託事業	4,071,430	
受取補助金等	9,290,783	
民間助成金振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	9,290,783	
雑収入	547,057	
受取利息	3,878	
雑収入	543,179	
経常収益 計	88,784,257	
(2)経常費用		
事業費	85,319,633	
①社会的課題解決及び新しい価値の創造のための事業を行う市民社会組織、企業及び個人並びに日常生活又は社会生活を営む上で困難を有する者の支援に必要な資金等の資源を募り、確保する事業	4,640,498	
②CSO、企業等及び社会的弱者に対する助成、顕彰、報奨、融資、債務保証及びその他必要な資源を提供する事業	47,399,234	
③社会的課題解決及び新しい価値の創造のために、地域の動産、不動産などの資源の利活用及び運用に関する相談、コンサルティング事業	2,461,858	
④CSO、企業等の組織基盤強化のための人材及び組織の育成事業	3,007,303	
⑤CSO、企業等、社会的弱者及び資源提供者に対する相談、コンサルティング事業	2,461,858	
⑥社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する普及啓発及びセミナー事業	2,595,208	
⑦社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する調査研究及び情報発信事業	3,068,169	
⑧社会的課題解決及び新しい価値の創造のための県内外の各関係支援機関との連絡調整及びネットワーク構築並びにこのネットワークを活用したコレクティブインパクト事業	6,550,244	
⑨CSO、企業等及び社会的弱者の支援に関する受託事業及び補助事業	13,135,261	
管理費 法人の管理運営に係わる経費	3,472,404	
経常費用 計	88,792,037	
当期経常増減額	-7,780	

貸借対照表

(単位:円)

(1)資 産		(2)負 債	
流動資産	20,547,308	流動負債	4,295,806
現金	0	未払金	159,282
預金	19,601,424	短期借入金	3,840,000
未収金	731,430	預り金	296,524
立替金	214,454	固定負債	16,320,000
固定資産	84,214,267	長期借入金	16,320,000
①基本財産(県民の皆様からの寄付による設立時資産)	3,000,750	負債合計	20,615,806
②特定資産(寄付受入預金)		(3)正味財産の部	
寄付受入預金	35,650,408	指定正味財産	84,145,769
助成金受入預金	45,413,611	一般正味財産	0
寄付未収入金	50,000	正味財産合計	84,145,769
建物	31,000	負債及び正味財産合計	104,761,575
③その他の固定資産			
器具備品	68,498		
資産合計	104,761,575		